

# 市民が育てる東京・未来

生活者ネットワークの議員は、市民主体のまちづくりを実現するため、市民と議会、行政をつなぎます。市民の視点で、情報公開をすすめ、区政を変えていきます。

# 生活者ネットワーク 区議レポート 11

2010年11月7日 No.11

発行 生活者ネットワーク

発行責任者 橋本牧

〒176-0001練馬区練馬1-15-1堀越ビル303

電話03-5984-1013 FAX03-3993-1199

Eメール net-gikai@jcom.home.ne.jp

URL http://nerima-seikatsusya.net

## 自治でまちを生きいきと！

▶練馬区立みんなの広場公園は、まちづくり条例にもとづく、施設管理型地区まちづくり計画に初めて認定されました。自主管理によってサッカーのできる公園になりました。



地域に開放された民間のあそび場では、子どもたちがサッカーを楽しんでいました。ところが、区立公園に変わったことで、他の公園と同様ボール遊びが禁止されることになりました。区はサッカーゴールの撤去も求めました。

そのことをきっかけに、地域住民は子どもたちがサッカーを続けられるようにと、公園を管理するNPOを立ち上げました。この公園は、まちづくり条例にもとづき、施設管理

自分たちのまちを暮らしやすくするために、地域に必要な機能をつくりたり、自主的に活動したりすることは、住民の「自治」です。町会や自治会も本来は自治組織ですし、子育て支援や環境・福祉の分野で広がっている、市民団体の活動も自治的活動です。さまざまな自治が実践されることで、地域を豊かにしています。

### サッカーのできる公園に

型地区まちづくり計画(注)に認定され、NPOが自主管理することになります。自分たちでルールを決め、地域のおとなが見守る中で、子どもたちはサッカーを続けることができるようになりました。

(注)練馬区まちづくり条例では、地域住民が公園や緑地の利用方法などの計画を提案し、区から認定を受けると実行できる制度があります。



### 通学路を安全に

スクールゾーンのペイントがある道路がありましたが、学校に近いので、おおぜいの児童が通り危険です。

このように、地域住民が自主的に関わり、人とつながり生きいきと活動することで、地域も活性化していきます。

2006年、自治基本条例を考える区民懇談会から提言が区長へ報告されました。しかし、その提言は4年間たなびらにされていました。ところが6月、急に今年度中に策定とのスケジュールが示されました。(仮称)区政推進基本条例と名称を変え、12月の議会に提案される予定です。

「区政推進基本条例」は「練馬区にふさわしい」自治と自治が限定されています。区民主権はないがしろにされ、自治を育む姿勢に欠けています。区の意向に沿わない区民の活動は、排除されることが懸念されます。区政への参加・参画をおおらかに保障する「自治基本条例」が、まちの活性化には必要です。

そこで、保護者が、車が通り抜けできないように、車両通行止めの看板設置を警察に要望しました。「保管・管理ができるなら貸し出します」と言われ、地域の保護者が交代で、管理し、通学路の安全が保たれています。

区議会議員  
菊池靖枝

健康福祉委員会  
交通対策等特別委員会副委員長  
http://kikuchi.seikatsusha.net

### 議員年金、 日額旅費(交通費) 廃止へ!

生活者ネットワークは、議会を生活者の視点で変えるために、議員特権の廃止を訴え続けてきました。日額旅費については2006年に廃止を求める議員提案をしましたが、議会で否決されました。それ以降、日額旅費を受け取らないよう法務局に預け(供託)続けています。そこで2004年に引き続き今年3月より議員年金、日額旅費についてのアンケート調査を行いました。自分の意見に合うとこ

ろにシールをはるアンケートを含め、500人以上の声をいただきました。街頭でのアンケートでは、「初めて知って驚いた」「社会はきびしい状況なのに」「議員だけの特権は許せない」といった声を聞いています。

#### ►►日額旅費必要ない 91%

議員には月額61万5000円の報酬のほかに21万円の政務調査費が認められています。さらに委員会などに出席すると1日3000円の日額旅費(交通費)が支給されます。生活者ネットワークは、交通費は報酬に含まれていると考えます。すでに荒川・

杉並区では廃止、世田谷・新宿・千代田区では実費相当に変えました。

#### ►►議員年金必要ない 90%

区議会議員は3期12年以上在職すると、国民年金に加えて議員年金が支給されます。年金額は12年在職の場合178万5600円で、支給額の約50%は税金が投入されています。他の年金制度に比べて優遇されすぎています。すでに地方議会議員年金制度は破綻するといわれています。

議会のあり方を変えるのは多くの区民の声です。ご意見をお寄せください。

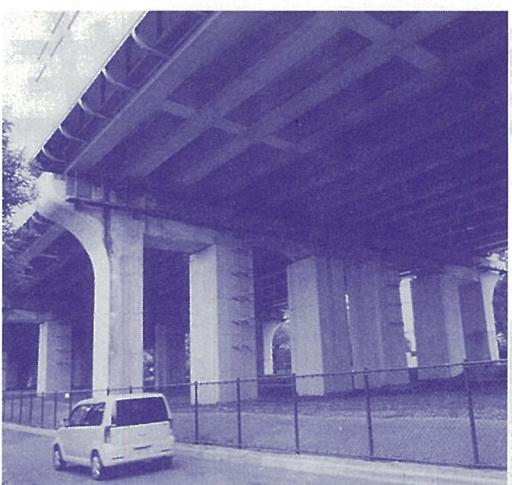
## ►►►第3回定例区議会[9/10~10/15]が開催されました◀◀◀

# まちが変わる!! 住民の自治は踏みにじられたまま

## 高速道路の下に 高齢者センター?!

関越自動車道の高架下利用計画が進められています。ここは3年前に沿線住民の反対を押し切って、側道の「車止め」を撤去した結果、通過交通量が増え、排気ガスも増え、地域の住環境が悪化した所です。

その側道に面したコンクリートの巨大な柱の間に、大泉地域の高齢者センターとリサイクルセンターを作



▲大泉学園町4丁目、こぐれの森近くの関越自動車道高架下。自動車による排気ガス・振動は健康に悪い上、暗くて寒い。高齢者の居場所や、環境学習でエコをすすめるリサイクルセンターにはふさわしくない

### ばらばらな若者支援 決算特別委員会で指摘



区議会議員 橋本 牧  
はしもと まき

議会運営委員会  
区民生活委員会  
総合計画等特別  
委員会  
<http://hashimoto.seikatsusha.net>

### 光が丘のまちづくり 説明不足

吉川みさ子

廃校となつた光が丘第三小学校の借受事業者に、杉並区などでインター・ナショナルスクールを経営する事業者が内定し、12月の区議会で正式決定されようとしています。校庭・体育館の開放、避難拠点の活動、地域交流などの事業提案書、事業収支などの計画書などはすべて非公開のため、地域と共存できるのかを住民が判断する資料がありません。

若者の問題は、非正規雇用の多い就労形態や、社会とのあづれきによつてひきこもってしまうことなど、根深い課題をはらんでいます。しかし今まで総合的な施策が行われてきました。長い間、社会との接点を持てず、さまざまな経験や訓練ができずにいれば、社会への信頼を回復するのに、本人、家族とも大変な苦勞がります。ひきこもりの問題を見過ごし、早期支援の体制を整備し

### ■09年度決算に反対

直しでは、ひきこもり、ニート、フリーターなどの支援事業である「若者スタート支援事業」は、必要性が低いと評価されました。この事業は教育委員会が行っていますが、若者を対象とする事業は、心の健康は保健所、就労支援は産業経済部とばらばらに実施され、連携や結果の蓄積

生活者ネットワークは、09年度一般会計に「さまざまなまちづくり事業に区民参加がない」という理由で反対。国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の決算認定も反対し、社会保険制度改革へ現場の意見を伝えるよう求めました。

INFORMATION

■「董牙(あしかび) こどもが拓く未来」上映会  
11月19日(金) 18:30~

■学習会  
生ごみもプラスチックも資源に!  
12月4日(土) 14:00~  
講師:村田徳治さん  
いずれも会場は:  
石神井公園区民交流センター  
(石神井公園駅北口1分  
石神井公園ピアレス2階)  
問合せ先 ☎3993-4899  
練馬・生活者ネットワーク

生活者ネットワークのルール

- 議員を職業化せず、特権化しないために、議員は2期8年でローテーション(交代)します。
- 議員報酬は市民の政治活動資金として活かします。お金の流れは公開します。
- 選挙はカンパとボランティアで行います。

議員年金、日額旅費廃止まであと一歩か!? こんなところにも不況の風? 区民の風、いやいや正義の風! T.M.

が図られていません。まず、事業連携の体制づくりをすすめ、支援に関する人たちの問題意識の共有が重要です。悩んでいる人を受け止める窓口は広くし、個々人に適切な支援を示すことが必要です。



▲練馬駅北口に面した練馬・生活者ネットワーク事務所では、横断幕を掲げて反対をアピール

### リスクがいっぱい 練馬駅北口活用計画

橋本 牧

練馬区は来年秋に、光が丘団地全体の都市計画を変更する予定ですが、まったくの説明不足です。小学校跡地利用のために規制をゆるめ、民間に委ねることに不安が残ります。地域の人の納得できるまちづくりを話しあう場が必要です。

吉川みさ子

中村橋駅北側の練馬区立美術館は、25年の歴史があり、近・現代の質の高い作品を所蔵・展示し、高く評価されてきました。しかし、PR不足のため話題性に乏しく、入館者数は低迷、議会では、もっとポピュラーな展示を要請されることもありました。

今年4月教育委員会は元サントリーナショナルスクールを館長として招き、積年課題解決に踏み切りました。

今年4月教育委員会では、親しまれる美術館副館長を館長として招き、積年課題解決に踏み切りました。

1回目の運営協議会では、親しまれる美術館づくりにむけ、ロゴマークやキャラクターコピー制作、たれ幕設置など、民間の手法を取り入れて、改革案が次々と示されました。

一方、常勤職員を非常勤職員に置き換えたり、入館者の数値目標を掲げるなど、美術館にも行革の波が押し寄せてきた感があります。改善を重ねながら、地域に根ざした質の高い美術館であり続けてほしいと思います。

### 美術館にも 行革の波が

美術館運営協議会より



区議会議員  
きっかわ  
吉川みさ子  
環境まちづくり委員会  
清掃リサイクル等特別委員会  
<http://kikkawa.seikatsusha.net>